

## 人手不足対策設備導入等支援補助金（第１期）事例

項 目	内 容
事業者名 (業種)	アサゴエ工業株式会社（製造業）
概 要	これまで人手をかけていた製品の洗浄作業において、高圧洗浄機の導入により、作業の効率化や属人化の解消を図り、作業手順書など更なる作業工程の見直しに人員を再配置する。
導入した設備等	高圧洗浄機
導入した設備等の活用方法	建設機械等の部品を製造する際に、機械加工により生じる汚れやバリ（金属加工面のめくれ）を製品から除くために行う洗浄作業の効率化を図る。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗浄作業は、これまで熟練度の高い従業員の技量に依存をしていたが、従業員の高齢化等により、手作業で扱える製品の重量や生産性に限界があり、受注機会の損失につながっていた。</li> <li>・ 本設備を導入することで、洗浄作業に要する時間が導入前に比べ約１３０時間/月削減することができた。削減した時間を、作業手順書など更なる作業工程の見直しに着手できるようになったことで、より多くの取引先の信頼性の向上につながり、受注機会の損失も解消できている。</li> <li>・ また、従業員の熟練度や年齢に関わらず、洗浄作業が安全かつ精密に行うことができるようになり、熟練労働者等の人手不足の解消につながった。</li> </ul>

【導入前】手作業による洗浄の様子



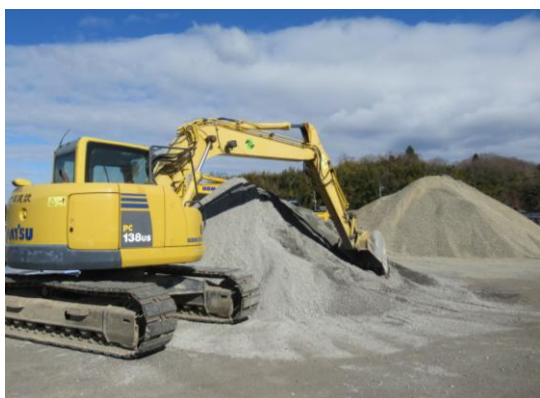
【導入後】設備によるシャワー洗浄の様子



## 人手不足対策設備導入等支援補助金（第１期）事例

項 目	内 容
事業者名 （業種）	有限会社伊賀建設（建設業）
概 要	最新の車体制御システムを搭載した油圧ショベルを導入することにより、土地造成に係る作業時間の短縮や施工精度の向上、安全性の確保を図る。
導入した設備等	I C T 油圧ショベル
導入した設備等の活用方法	土地造成の際に、正確な位置や高さ、水平の目印をつける作業（丁張り）の省略や、確認作業を削減し、掘削、整地工程における作業の効率化を図る。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丁張りの設置作業や施工の精度管理については、これまで熟練度の高い従業員の技量を必要としていたが、現場における人員配置の硬直化により、生産性の低下や工事の遅延につながっていた。</li> <li>・ 本設備を導入することで、丁張りの設置が不要となり、造成作業に要する時間が導入前に比べ、1000 m<sup>2</sup>あたり3～4日程度削減することができた。削減した時間を、工事の種類や現場の特性に応じた施工手順書及び安全面での留意事項を作成することなどにより、若手従業員の育成や現場において柔軟な人員配置が実現できるようになった。</li> <li>・ また、従業員の熟練度や年齢に関わらず、作業が的確かつ安全に行うことができるようになり、熟練労働者等の人手不足の解消につながった。</li> </ul>

【導入前】従来の油圧ショベル



【導入後】I C T 油圧ショベル



## 人手不足対策設備導入等支援補助金（第１期）事例

項 目	内 容
事業者名 （業種）	有限会社南野製作所（製造業）
概 要	精密部品加工に対応する高機能のＣＮＣ旋盤の導入により、熟練者の負担軽減を行うとともに、これまで外注を行っていた部品加工の内製化を進め、人手不足と受注機会の損失の解消を図る。
導入した設備等	ＣＮＣ旋盤
導入した設備等の活用方法	従来の旋盤では対応ができなかった、サイズの大きい部品を加工することが可能なＣＮＣ旋盤を導入することで、油圧部品などに用いる精密部品の受注拡大を図る。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、既存の旋盤では扱う部品のサイズに成約があり、多様なニーズに対応することが難しかった。また、部品加工の一部を外注することで、効率性やコスト面で課題があった。</li> <li>・本設備を導入することで、加工できる部品のサイズが広がり、受注機会の損失を解消することができた。</li> <li>・作業に要する時間が導入前に比べ１５時間/月削減することで、熟練度の高い従業員の負担軽減により、他従業員の技術指導を行えるようになり、社内人材の育成等により人手不足の解消につながった。</li> <li>・加えて、これまで外注を行っていた工程の内製化を進めることで、効率性の向上やコストの削減が図られた。</li> </ul>

【導入前】既存のＣＮＣ旋盤



【導入後】新しいＣＮＣ旋盤



## 人手不足対策設備導入等支援補助金（第１期）事例

項 目	内 容
事業者名 （業種）	ファナテック株式会社（建設業）
概 要	山間部での測量作業において、レーザードローンや３Ｄ測量ソフトウェアを導入することにより、測量精度の向上や受注機会の確保を図るとともに、作業時間の短縮等による人手不足の解消につなげる。
導入した設備等	レーザードローン、３Ｄ測量ソフトウェア
導入した設備等の活用方法	山間部において測量を行う際に、ドローンによるレーザー測量、ソフトウェアによる測量図の作成及び３Ｄ化を行うことで、これまで人手をかけていた測量作業の効率化を図る。
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に山間部において、これまで複雑かつ広範囲な地形で測量作業を行ってきたが、手作業の場合、測量の正確性や生産性に限界があった。また、高齢や女性の従業員が現場に出向くことが困難であった。</li> <li>・ 本設備を導入することで、測量作業に要する時間が導入前に比べ４０時間/月削減することができ、測量精度も向上した。</li> <li>・ 加えて、新たな測量ニーズに対応できるようになり、更なる受注機会の確保が期待できる。</li> <li>・ また、従業員の熟練度や年齢に関わらず、測量作業が安全かつ精密に行うことができるようになり、熟練労働者等の人手不足の解消につながった。</li> </ul>

【導入前】手作業での測量の様子



【導入後】ドローンでの測量の様子

